

報道機関各位（お知らせ）

令和3年(2021年)2月17日

御代田町 内閣府の衛星安否確認実証事業へ参加 ～内閣府「衛星安否確認サービス Q-ANPI」全国24自治体で6年間実証～



内閣府から
御代田町に
配備された
「Q-ANPI 端末」

御代田町では、内閣府宇宙開発戦略推進事務局が実施する準天頂衛星システム(みちびき3号機)による衛星回線を使った「衛星安否確認サービス(略称 Q-ANPI)」の実証事業に応募し採択され、2月10日内閣府職員立会いのもと、災害対策本部と体育館等の拠点となる避難所の計5か所分のQ-ANPI 端末が配備されました。

Q-ANPI は、避難所等に設置した専用の Q-ANPI 端末を使い、避難者がスマホやタブレットで入力した個人の安否情報を衛星経由で伝達するサービスです。収集した避難者の安否情報は、災害対策本部で避難所の状況把握に活用、さらには安否情報として登録された携帯電話番号を検索して、近親者が安否確認することができる仕組みです。

内閣府では、上記 Q-ANPI による避難所運営の支援機能に加え、スマホのアプリ・通信機能と連携させ避難所以外の場所からも被災者の安否情報をスマホを経由したりレー形式で伝達させ Q-ANPI 端末まで届けるといった機能の拡張や限られた伝送容量の中でインフラの破損状況について収集するシステムの実現可能性を調査するため、6年間の実証事業を展開しています。

町は、訓練を通して避難所開設時における Q-ANPI の操作や安否情報の登録、確認などを実施していくほか、実災害が発生した際は、実践導入するなどして実証を踏まえ導入を検討します。

【この件に関する ご取材・お問合せ先】

御代田町総務課 情報防災係 担当：柳澤 陸 ・ 櫻井 優祐

電話：0267-32-3111 メール：bousai@town.miyota.nagano.jp